

(学年) 第2学年、(教科・科目) 保健体育科・保健分野

協働学習

(単元) 傷害の原因と防止 (保健分野)

(本時のねらい)

- ・交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生することについて、理解したことを言ったり書いたりしている。
- ・傷害の防止について、それらに関わる事柄や情報などを整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。
- ・傷害の防止について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。

(ICT 活用方法)

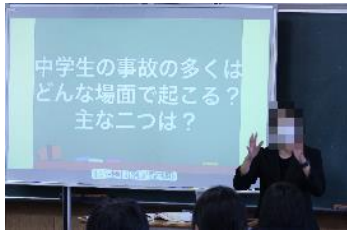
身の回りにあるヒヤリハット事象について、電子黒板に提示し、その要因について考えさせた。

危機予測についてグループで考えさせ、電子黒板とホワイトボードを併用して発表させた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標を確認する。 ・中学生の死因や事故の現状について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の死因や事故の現状についてクイズ形式で問いかける。グラフで現状を確認させる。 	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのヒヤリハットの具体的な場面、その人的要因と環境要因について考える。 ・傷害を防止するための危険予測を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートのヒヤリハット体験について、人的要因と環境要因について解説する。自分たちが実際に経験したヒヤリハットとその人的要因、環境要因についてグループで話し合い、電子黒板の画像を見ながら発表させる。 ・ワークシートの2つの場面において、傷害を防止するための危険予測をグループで行い、電子黒板の画像を見ながら発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板で提示された画像を利用して発表
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を写す。 ・本時のまとめを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークの要点の整理の部分に本日のまとめを記入させる。 ・傷害は人的要因と環境要因が関わり合って起こることを伝える。 	

（授業の様子）



教材投影方法



ホワイトボードと電子黒板を併用して発表

（生徒の反応と課題、改善を要する点）

電子黒板に教師側の情報を映したまま、生徒端末の画面を映すようなことができないので、発表にホワイトボードを利用した。教員と生徒端末の2画面が投映できるような機能があれば便利だと感じた。